

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	交流・環境		25年度事業・施策評価結果		責任者	企画調整室 環境担当課長
施策名	うるおいと魅力のある港湾空間の形成		成果	コスト		
事務事業名	中川運河水質改善事業				連絡先	052-654-7819
					連携課	事業担当
目的	対象(誰・何を)	中川運河			事業 期間	平成26~31年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	良好な水環境を創出します。				
概要	「市民等が水辺を不快なく散策できる水環境の創出」を目指し、中川運河と堀川の水循環を促進するための松重ポンプ所の改修、露橋水処理センターの高度処理水の活用、並びに貧酸素化を抑制するための堀止深場埋戻し(覆砂)といった水質改善事業を実施します。				根拠 法令等	
26年度の実施予定	中川運河水質改善施策の現地着工に向けて、調査及び関係者との調整を進めていきます。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
					関連 シート	

2 DO(実施)

26年度に実施した 内容・結果	中川運河水質改善事業について調査及び関係者に説明・調整を行いました。					
コスト	単位	24年度	25年度	26年度	合計	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円			17,496	17,496	
人件費	千円			11,628	11,628	
合計	千円			29,124	29,124	

3 CHECK(検証)

指標名		24年度	25年度	26年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
事業の進捗状況 (全7工程) (進行管理型)	目標			1	5(累計)		以下の項目のうち完了した工程数を合計します。 【①調査 ②事業採択 ③設計(松重ポンプ所改修) ④吐出配管整備(高度処理水活用) ⑤設計(堀止深場埋戻し(覆砂)) ⑥堀止深場埋戻し(覆砂)整備 ⑦松重ポンプ所改修】	
	実績			1				
	事業進捗状況(26年度)			順調・ やや遅れ・遅れ				
関係機関との協議 (回) (単年度管理型)	目標			-	10		協議の回数を判断の指数とします。	
	実績							
	事業進捗状況(26年度)			-				
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	中川運河水質改善施策の事業化に向けて、調査及び関係者との調整を進めることができたことから、順調に事業進捗しております。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○ 港湾管理者として、中川運河再生計画に基づき松重ポンプ所の改修等を行い、水質改善に取り組んでいく必要があります。						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 中川運河の良好な水環境の創出は、上位施策である「うるおいと魅力のある港湾空間の形成」に貢献すると考えております。						
	期待どおりの成果が得られているか?	○ 事業実施は、中川運河の水質改善を図り、中川運河の再生に貢献するものであり、国および県市に対し事業説明を行い、その内容が認識されています。						
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 関係行政機関、学識者を交えた委員会により経済性を踏まえて策定した施策であり、今後も事業実施に向けコスト削減に努めていきます。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	27年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
	継続	拡大 拡大	・関係機関との協議により、中川運河の水質改善に向けて平成27年度から事業化し、重点化する必要があるため。
		資源(財・人)の投入を拡大し、取組を強化することによって、成果をあげる必要がある。	
課題		27年度以降の取組	
平成27年度の事業着手、およびその後の現地着工に向けて関係者と調整する必要があります。		事業採択されたことから、松重ポンプ所改修の設計に着手するとともに、引き続き関係者との調整を行います。	